

大阪市財政の現状と見通し

平成30年10月

OSAKA CITY
大阪市



I 大阪市の起債運営

- 起債運営のコンセプト 2
- 大阪市の格付け 3
- 今後の発行予定 4
- 最近の発行実績 5

II 大阪市の概要

- 大阪市の概要① ～人口・地価～ 6
- 大阪市の概要② ～市内総生産～ 7
- 市税収入の推移 8
- 変革する都市・大阪と今後の成長戦略①
～観光戦略～ 9
- 変革する都市・大阪と今後の成長戦略②
～2025日本万国博覧会の誘致～ 10
- 変革する都市・大阪と今後の成長戦略③
～うめきた2期区域のまちづくり～ 11
- 変革する都市・大阪と今後の成長戦略④
～都市インフラの充実～ 12
- 市民生活の安全・安心の確保のための取り組み 13

III 財政の現状

- 大阪市の課題 ～生活保護費の適正化～ 14
- 財務リスクに係る取組・処理状況 15
- 財政健全化法における4指標 16
- 市債残高の推移 20
- 市債発行額の推移 21
- 公債償還基金の残高 22

IV 今後の見通しと取組

- 今後の財政収支概算(粗い試算) 23
- 財政健全化への取り組み ～人件費～ 24
- 官民連携及び府市連携・一元化 25

起債テーマ

「Investor Relations (IR) 活動の充実による投資家の皆様との信頼関係の確立」

平成24年度から 全年限において「主幹事方式」を採用

- 幅広いお客様との丁寧な対話による実需に基づく条件決定を行うことで、発行条件の透明性・信頼性を高める
- 主幹事方式の特徴である、「均一価格(発行条件)でのお客様向け販売」を徹底し、お客様に安心して発行価格で購入していただける環境をつくる

これらを徹底した起債運営により、お客様が本市債を発行条件で購入された後、流通市場でも適切に価格が形成され、安心して継続保有や売買ができることにより、お客様の満足度を高めていく



DealWatch Awards 2017
「Local Government Bond Issuer of the Year」



キャピタル・アイAwards
「BEST ISSUER OF 2017」

上記起債テーマに基づいたお客様重視の起債運営を一貫して行うことで、地方債市場における盤石な評価の定着と、安定的な調達基盤の構築を図る

主幹事方式とは

- 発行体(本市)が提案を募集、選定した金融機関を「主幹事」とし、発行体と協議しながら起債運営全般を進めていく方法
- 投資家需要が発行額を満たすスプレッドにて発行するため、市場の実勢に基づいた条件決定が行える

大阪市の格付け(地方自治体最上位、国債と同格)

平成19年度から「発行体格付け」を取得

- 情報公開を徹底し、市政の透明性を確保する観点から、発行体格付けを取得
- 評価にあたり、今後も滞りなく改革を進めていくことが前提との意見をいただいていることから、今後とも緩むことなく市政改革を進め、市民の皆様、投資家の皆様の信頼を得られるよう努めてまいります

本市発行体格付けの状況

国際的に高い認知度と実績のある格付会社2社から日本国債と同水準の格付けを取得

スタンダード & プアーズ

A+ (ポジティブ)

- 多様な経済活動に支えられ、経済基盤は非常に強固
- 財政パフォーマンスが非常に良好で安定
- 極めて高水準の流動性

(資料: 2017年12月12日スタンダード&プアーズ レポート)

ムーディーズ

A1 (安定的)

- 中央政府による地方財政監視の強固な制度的枠組み
- 西日本の経済活動の中心としての高い経済力
- 良好な歳出管理と安定した歳入に支えられた高い財政パフォーマンス

(資料: 2018年3月7日ムーディーズレポート)

今後の発行予定

発行予定

年限	条件決定日	発行額	払込日	償還日	主幹事
5年債	平成30年11月(予定)	100億円程度	平成30年11月(予定)	平成35年11月(予定)	大和証券、野村証券、みずほ証券
10年債	平成30年11月(予定)	100億円程度	平成30年11月(予定)	平成40年11月(予定)	三菱UFJモルガン・スタンレー証券 SMBC日興証券、東海東京証券

平成30年度 大阪市 全国型市場公募地方債 発行予定(平成30年9月末時点)

(単位:億円)

種別	発行額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個別市場公募	1,200												
5年債	800		100				100		100		100		
10年債			100				100		100		100		
超長期債	400	20年債 100	20年債(定償債) 100			30年債(定償債) 100		← 100 →					
フレックス枠 (年限・発行方式未定)	600		200			50		← 350 →					
共同発行債	300		50				50			30	70		100

※ 発行月及び発行額は今後の状況変化により変更する可能性があります

※ 5月フレックス枠 200億円 … 5年債50億円増額
10年債50億円増額
20年債(定時償還)100億円増額
8月フレックス枠 50億円 … 30年債(定時償還) 50億円増額

最近の発行実績

5年債・10年債

- 需要動向を踏まえて適正なスプレッドを設定
- 需要を着実に積み上げ、増額を実現(30年5月:5年債 50億円、10年債 50億円)

		29年9月	29年11月	30年1月	30年5月	30年9月
5年債	条件決定日	平成29年9月6日	平成29年11月10日	平成30年1月12日	平成30年5月10日	平成30年9月6日
	発行額	100億円	100億円	100億円	150億円	100億円
	応募者利回り	0.020%	0.020%	0.040%	0.030%	0.030%
	国債対比(カーブ)	絶対値を適用	絶対値を適用	絶対値を適用	絶対値を適用	絶対値を適用
10年債	条件決定日	平成29年9月6日	平成29年11月10日	平成30年1月12日	平成30年5月10日	平成30年9月6日
	発行額	100億円	100億円	100億円	150億円	100億円
	応募者利回り	0.150%	0.200%	0.240%	0.210%	0.254%
	国債対比(カーブ)	+14.0bp	+16.0bp	+16.0bp	+15.0bp	+13.0bp

超長期債

- 需要を着実に積み上げ、多くの銘柄で増額を実現(発行額のうち100億円を超える分は増額分)
- 投資家の皆様のニーズを踏まえ、30年8月に本市初となる30年定時償還債を発行

		29年4月	29年9月(定時償還)	29年10月	30年4月	30年5月(定時償還)
20年債	条件決定日	平成29年4月12日	平成29年8月25日	平成29年10月13日	平成30年4月12日	平成30年5月17日
	発行額	200億円	150億円	150億円	100億円	200億円
	応募者利回り	0.655%	0.314%	0.635%	0.544%	0.381%
	スプレッド(カーブ)	+4.5bp	MS+9.0bp	+3.5bp	+3.5bp	MS+9.0bp

		27年10月	28年10月	29年10月	30年8月(定時償還)
30年債	条件決定日	平成27年10月16日	平成28年10月7日	平成29年10月6日	平成30年8月9日
	発行額	250億円	150億円	150億円	150億円
	応募者利回り	1.500%	0.610%	0.973%	0.746%
	スプレッド(カーブ)	+14.0bp	+11.0bp	+11.0bp	MS+18.0bp